

## 広島大学病院に最新型ダビンチ



広島大学病院泌尿器科が実施したダビンチ5を使った初めての手術。中央のロボットを左奥のコンソールで操作します

### より安全、短時間に手術



ダビンチ5 サージカルシステム フルコンポーネント  
(インテュイティブサージカル社資料)

コンソールのコントローラーを操作する  
日向教授

## 広島大学病院に最新型ダビンチ より安全、短時間に手術

広島大学病院は、手術支援ロボット「ダビンチ」の最新型「ダビンチ5」を導入し、7月23日に初めての手術を実施しました。従来型では視覚だけに頼っていましたが、触覚が加わり、臓器などへの力のかけ方をきめ細かく制御できるため、より繊細で安全な手術が可能となりました。患者さんへの負担軽減にもつながります。

### 中国地方で初の導入

全国6施設が同時に導入し、中四国地方では唯一です。ダビンチは4本のロボットアームの先端についたメスや鉗子(かんし)などを、おなかを開けた小さな穴から体内に入れて、患部を切除したり、縫合したりする医療機器です。医師がモニターをのぞき込み、コントローラーを操作して施術します。

ダビンチ5は、組織を押し引きする際の力を感知できるのが従来はなかった機能で、データ処理能力やモニターの3D映像の解像度も向上。おなかを膨らませる気腹圧の調整など手元で制御できるメニューも増えています。



### 出血量少なく 患者さんの負担軽減

初めての手術は、泌尿器科の日向信之教授のチームによる高齢男性の膀胱がんに対して行われました。泌尿器科では全国初です。膀胱を摘出し、ご本人の小腸からつくった代用膀胱をつなぎます。手術は順調に進み、これまでより1時間ほど早い5時間余りで終了しました。出血量は100mlほどで、患者さんへの負担の少ない手術となりました。

### 神の手 多くの患者さんへ

手術を終え、記者説明会に臨んだ日向教授は、「縫合する糸の張りも感じられ、視覚だけに頼るより疲れもなく、安全にできた。指導者によるトレーニングは必要だが、



『神の手』と呼ばれる医師の手技が、多くの患者さんに対してできるようになるのでは」と話しました。

さらに、より効率よく、安全な手術が施せるとして、減少傾向にある若手外科医の教育効果にも期待しました。また術者が手元でできる操作が増えていることから、より少ない人員で手術ができるようになるとして、人材活用面でも有効としました。

ダビンチ5と初の手術について、記者説明会で話す日向教授

## ロボット手術3100件以上

ダビンチ5の導入により、広島大学病院の手術支援ロボットはダビンチ5が1台、ダビンチXi2台、国産機ヒノトリ1台の4台体制となります。2010年3月に初代ダビンチを導入して以降、前立腺がん、腎臓がんをはじめ、頭頸部がん、肺がん、食道がん、胃がん、膵臓がん、大腸がん、子宮筋腫など、2025年6月までに行った手術件数は3100件以上と、全国有数です。

広島大学病院では、患者さんの負担がより小さく、安全な術式の開発に努め、若手外科医の育成にも尽力していきます。

## 効率よく安全な手術を追求



### ひなた のぶ ゆき 日向信之 教授の話

新型ダビンチにより、手術時間の短縮など患者さんの負担がより小さくできます。術者にとっても、視覚だけに頼った従来型では、患部の切除や縫合などする際に、かなりの緊張感がありましたが、触覚が加わることで、張力や組織に加わる力が感じられ、よりスムーズな動作ができるようになりました。より効率よく、安全な手術を追求していきます。

## ニュースアップ

### 小児病棟にお役立ちグッズカート マツダが製作し「ぼこぼこトレイン」が寄贈

広島市安佐南区を拠点に活動する子育て支援団体「ぼこぼこトレイン」から7月2日、小児病棟に入院する子どもたちや、付き添う保護者に役立つグッズを詰め合わせたカートをプレゼントしていただきました。カートは広島市南区のマツダ本社工場第1車両製造部22人による手作りで、費用はマツダ(広島県安芸郡府中町)の支援をいただきました。

アルミフレームや樹脂でできており、プレスや組み立て、塗装など自動車ができるまでを描いた緻密なイラストで飾られています。収納棚を引き出すと、上部に載せたミニスポーツカーが動き出す仕掛けもあります。入院棟廊下の棚の下に収まるよう高さ95cm、幅と奥行き約65cmのサイズです。

中には、ぼこぼこトレインの支援者から寄せられた子ども向けの文房具や歯ブラシ、割りばし、洗剤、化粧品など50種類余りのアイテムが収められています。入院中の子どもたちや保護者が自由に取り出して使え、月に1、2回のペースで、ぼこぼこトレイン様が補充してくださいます。マツダ社員の皆様も、家庭に不要の日用品などを提供して下さる予定です。



### 一生に一度は肝炎ウイルス検査を 肝臓守るのに歯も大切 大学病院でイベント

世界(日本)肝炎デー(7月28日)のイベントが29日、広島大学病院で開催されました。病棟や外来では、消化器内科や内分泌・糖尿病内科の医師や口腔検査センターの歯科医師が無料肝炎ウイルス検査の案内を行い、診療棟3階のホールでは、肝臓への悪影響を及ぼす可能性が指摘されている口内細菌の確認や無料の肝炎ウイルス検査を実施しました。

ホールでは、広島県が認定する特任肝疾患コーディネーターや歯科医師10人がイベント参加を呼びかけ、患者さんやご家族、約20名が参加されました。奥歯の間の歯垢をブラシで取り出し、顕微鏡で400倍に拡大した画像をモニターに映し出すと、あちこちに動き回っている細菌が確認できました。丁寧に歯磨きをしているという人も、その数の多さにびっくり。「菌周病菌による炎症は肥満や糖尿病も悪化させ、菌が血流にのって肝臓に移ると肝炎を起こす恐れもあります」との説明に、「今まで以上に歯を大切にしよう」との声が聞かれました。

肝炎ウイルス検査は5mL程度の採血で、検査結果は自宅へ郵送しております。検査を受けた人には、肝炎についてクイズで解説したうちわや、肝臓に優しい料理のレシピ集などをプレゼント。検査を受けた人は「健康と安心につながれば」と話されていました。

広島県は、委託する医療機関や県保健所(支所)で、無料で肝炎ウイルス検査を実施しています。広島、呉、福山の市民は各市が委託する医療機関で検査を受けられます。

肝がんは検査で防げるかもしれません。一生に一度は肝炎ウイルス検査を!



### 外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の認証が更新されました

広島大学病院は6月17日、一般財団法人「日本医療教育財団」から、外国人の方が安心・安全な医療サービスを受けられる施設として、「外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP:Japan Medical Services Accreditation for International Patients)」に認められ、2022年の認証を更新しました。

JMIPは、書類審査と訪問調査があり、今年3月の訪問調査では外国人患者への対応状況などを調査員が直接聞き取りました。多言語による診療案内や異文化・宗教に配慮した対応など受入れ体制も審査されました。認証により、医療を必要とするすべての外国人に安心、安全に医療を提供できる体制であることが証明されました。

本院は2024年1月に一般社団法人「Medical Excellence JAPAN(MEJ)」が、渡航受診者受入れに意欲のある病院を推奨する制度「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ(JIH)」の推奨も2021年に続き更新されています。

# 看護師 プラス

看護師の業務が拡大しています。「専門看護師」「認定看護師」は高度化・専門化が進む医療現場でレベルの高い看護を実践できる看護師に認められた資格です。いずれも日本看護協会が認定しています。

専門看護師は、看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得したのちに、専門看護師認定審査に合格することで取得できる資格で、13分野。認定看護師は、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格で、21分野です。それぞれの資格を持った看護師がどんな活動をしているのか、紹介していきます。



[認定看護師]  
がん薬物療法  
清本美由紀

**01 ！ どんな仕事？** がん化学療法薬の投与管理や副作用のマネジメント、患者さんやご家族への正しい知識の提供、院内外の看護師にがん化学療法薬の安全な取り扱いや知識の普及をする仕事です。研修会では、がん化学療法薬の投与を行う看護師全員が、患者さんの苦痛を最小限にする知識を身に付けることを目指しています。また、2023年度に「栄養と水分に係る薬剤投与関連」の特定行為研修を修了し、栄養に関する支援を行うために院内の栄養サポートチームラウンドを行っています。



**02 ！ きっかけは？**

がん化学療法薬をうけている患者さんの副作用が強く、食事がとれず困っておられました。米国のナースプラクティショナーの研修会を受講し、学びを実践したところ、患者さんの苦痛が軽減したことが、認定看護師教育課程受講のきっかけです。患者さんやご家族の苦痛を少しでも軽減することを目指して、自分の知識を深めたいと思い、資格を習得しました。

**03 ！ 将来へ向けて**

がん化学療法薬や、患者さんの生活の質を改善するための支持療法は日々進歩しています。正しい知識を院内全体で提供できるように実践や教育を継続していきたいと思っています。また、栄養や水分管理は、がん化学療法を継続するうえで重要であり、より治療効果を高めると期待できます。患者さんをより支援できるように、これからも知識を深めたいと思います。



[認定看護師]  
慢性心不全看護  
磨野 浩子

**01 ！ どんな仕事？**

心不全は、日常生活のささいな変化が病状に影響を及ぼす疾患です。患者さんが「自分らしく」生活を続けながら心不全の悪化を防げるよう、セルフモニタリングの状況を確認しつつ、生活習慣の再構築を支援しています。さらに、治療方針やアドバンス・ケア・プランニング(ACP)を含む意思決定支援、心不全増悪時の対応にも取り組んでいます。セルフモニタリングや生活改善が困難な場合には、院内外の多職種と連携し、自宅でも安心して「自分らしく」生活を継続できるよう支援しています。



**02 ！ きっかけは？**

外来心臓リハビリテーションで自宅での様子を確認した際、生活改善に悩む患者さんへの対応に迷い、知識不足を痛感しました。「自分には何ができるのか」「患者さんが自分らしく生きるための支援とは何か」と考え、患者さんと真摯に向き合える知識と技術を身につけたいと思い、慢性心不全看護認定看護師を目指しました。

**03 ！ 将来へ向けて**

心不全は入退院を繰り返すことにより、QOL(生活の質)が低下し、社会的サポートが必要となり、楽しみが少しずつ遠ざかることがあります。患者さんが地域で安心して「自分らしく」生活できるよう、知識と技術を磨き続け、院内外の多職種と連携しながら、社会全体で支え合える体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。

# 診療科最前線

「精神科」

(診療科長:岡田剛教授)



## ▶ 得意分野

当科では、重症の摂食障害や身体合併症を有する精神疾患患者さんを積極的に受け入れています。難治性うつ病、発達障害、認知症では検査入院を行い、詳細な評価を実施。検査後は結果を地域の医療機関にフィードバックし、その後の治療継続に

## ▶ 診療科の特徴

精神科はこころの健康を支える診療科として、うつ病、双極性障害、不安症、統合失調症、摂食障害、認知症、発達障害など幅広い疾患に対応しています。症状や診断にとどまらず、患者さん一人ひとりの背景や生活にも丁寧に向き合い、外来と入院で医師・看護師・心理士・ソーシャルワーカーが協力して包括的な医療を提供しています。他の診療科に入院中の患者さんに精神症状が生じた際には、精神科医師や認定看護師、精神保健福祉士らで構成されるリエゾンチームがベッドサイドで診療を行っています。

役立ててもらっています。また、麻酔科と連携し、修正型電気けいれん療法(mECT)という重症うつ病などに有効な治療を緊急時に速やかに実施できる体制も整えています。



## ▶ 患者さんの動向

現代社会のストレスや生活環境の変化を背景に、うつ病や不安症の患者さんは増加しています。若年層を中心に摂食障害の相談も多く、心身両面からの支援が求められています。一方、高齢化に伴い、他科に入院中の患者さんにみられる認知症関連の症状やせん妄への対応が増え、リエゾンチームは各診療科と協力し、治療が円滑に進むよう支援しています。

## ▶ 最新のトピックス

精神疾患には依然として客観的な診断指標が乏しく、脳科学研究の成果も十分には臨床に還元されていません。当院では機能的MRIやAI技術を用い、うつ病などに特有の脳機能変化を明らかにする研究を進めています。脳の働きを“可視化”し、症状の背景にある神経ネットワークの異常を捉えることで、客観的な診断や治療選択につなげることを目指しています。

## 催しのご案内 (2025年10月~2026年1月)

### がん治療を支える患者サロン

10月16日(木) 13:30~14:30  
自分らしくがんと付き合っていくために  
~がんとストレス対処法について~  
会場: 臨床管理棟3階 3F2会議室/zoom  
講師: 公認心理師 新本かの子

12月18日(木) 13:30~14:30  
すい臓がんの知識~リスクと早期診断~  
会場: 臨床管理棟3階 3F2会議室/zoom  
講師: 消化器内科 医師 石井康隆

### 患者おしゃべり会

11月25日(火) 13:30~14:30  
広島大学病院診療棟2階 健康情報プラザ  
申し込み・問い合わせ: がん相談支援センター ☎082-257-1525

### 第16回がん診療連携拠点病院共催 市民講演会

がんと共に歩む~わたしらしく生きるためのヒント~

10月19日(日) 13:00~15:30(12:00~受付開始)  
会場: 広島県医師会館ホール(広島市東区二葉の里三丁目2番3号)  
定員: 300名(要申込・先着順・参加無料)  
<https://gan-hiroshima.com/> ※申込締切 10月10日(金)



### 肝臓病教室

10月20日(月) 15:00~16:00  
今知りたい!肝がん治療の最前線 講師: 消化器内科 医師 藤野初江  
肝細胞がん治療薬のお話~薬を知り、副作用に気づき、上手に対処しよう~  
講師: 薬剤部 薬剤師 滝沢大吾

会場: 臨床管理棟3階 3F3・4会議室 申し込み: 不要(参加費無料)

2026年1月19日(月) 15:00~16:00  
肝疾患と運動(仮) 講師: 理学療法士  
会場: 臨床管理棟3階大会議室 申し込み: 不要(参加費無料)  
問い合わせ: 肝疾患相談室 ☎082-257-1541 (10:00~12:00 13:00~16:00)

